



日に日に春の陽気を感じ暖かくなってきました。梅の花が咲き始め、桜のつぼみがふくらむ時期になりましたね。新しい季節の訪れに五感が刺激されます。

四季ごとに旬の食材を使用した料理を作ったり、行事をしたいと常日頃思っています。時間に追われ(そもそも料理が苦手)なかなか難しく歯がゆい思いをしていました。1年前からこども食堂のお手伝いをさせていただく機会に恵まれ、地域の方々ことごとちと食を通して季節を楽しむ生活ができるようになってきました。四季折々の行事は息子(7才)が大変楽しみにしていて、仕事優先になってしまいがちの生活に私自身も「ソッ」が出てきたように思います。

子育ては、私ひとりではないのでなく、多くの方に支えられ、助けられていることを胸に誇り、息子にも「感謝の気持ちをお父さんに」と伝えていきます。

春とは申せ、朝夕はまだ寒さが残っております。体調を崩したりなさいませんようお気をつけ下さいね!! 新しい年度に向けて残りの日々を1日1日を大事に過ごしていきたいものです!

♡MAI♡



お母さん、大丈夫だよ

vol.7 あなたのままでそこに咲く

また1年、季節がめぐって空気の中にほんのり、あたたかさやかくわしさをを感じる季節となりました。お元気ですか?

この1年も大切に可愛らしいお子さんをよしよしと愛でると同じように、お母さんご自身のこと大切に大切に、心と体の声を聞いて過ごされてきたならば、とても嬉しいです。

あなたは一切の付加価値をつける必要のない、そのまま美しい存在です。そのままのあなたでただ、そこに咲いて下さい。

季節はもうすぐ春❀ 応援しています。floweringセラピー®
セラピスト Nagisa



<p>7年間お世話になりました。たくさんの方との出会いがあり、素敵な時間をてくてくと共に歩めた日々でした。</p> <p>美刊は残念ですが、子育ての情報発信に微力ですが携われたことは、貴重な経験になりました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">♡MAI♡</p>	<p>ラストイヤーに参加することができて良かったです! ありがとうございます!</p> <p style="text-align: center;">AZURIN</p>	<p>楽しく書いたり読んだりしながら、育児の悩みも相談できました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">yuki</p>	<p>今年も早いもので、ミモザや桜の季節がめぐってきました。この1年も、お花と心のつながりについて、てくてくで記事を書くことができ、とても楽しかったです。お母さんというお仕事は、時に大変なこともあります。いつも身近にお花を感じて、呼吸を感じて、過ごしていただけたら幸いです。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">Nagisa</p>
。メンバ-あいさつ。			
<p>短い間でしたが人に伝えるという良き体験をさせて貰いました。みなさんの想いやワクワクの世界がずっと続きますようにありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">子連れ鍼灸師サミー</p>	<p>てくてくに語ってもらって気がつけば約4年が過ぎていました。仕事の都合もなかなか編集作業には参加できませんでしたが、記事の作成は楽しくやらせてもらいました。男性の視点で他の方とは少し違う視点で書けていれば幸いです。短い間でしたがお世話になりました。</p> <p style="text-align: center;">つねちゃん</p>	<p>毎号楽しみに読ませていただきました。手作りおやつやレシピやお出かけスポットの紹介など役立つ情報は、皆さんの子育てを少し覗いているような、そんな素敵になって楽しかったです。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">wakit</p>	
<p>1年だけの参加でしたが貴重な経験となりました! ありがとうございます!</p> <p style="text-align: center;">☆こばやん☆</p>	<p>たくさんの情報が知れて楽しかったです! 皆さまお元気で。これからも子育てばちばち頑張りますよ。</p> <p style="text-align: center;">えっこ</p>		



てくてくはこの春号をもって発行を終了します。



てくてくは平成17年2月10日に初めて発行されました。当時、平成12年度~16年度までちつと子育サークル(総勢70組の親子が所属)があり、それぞれのサークルでの活動を報告し合ったり、子育て情報を交換し合ったり、そんな交流の場の1つとして発行が始まったようです。それから20年の時を経て、子育て世代を取り巻く環境は大きく変わり、子育て世代の親子が活躍に集い活動する機会が減りました。てくてくメンバーも年々減り、一人一人の負担が重くなっていく。各々が仕事等で忙しく、編集ですらメンバーが集まらない状況が続いています。「子育て世代の交流の場」という本来の活動の目的からモスレてきており、今後も継続的に活動していくことは難しいと半世紀、メンバーと市とも話し合い、残念ながらこの春号をもって最終号とさせていただきます。おながりに愛読・応援いただき本当にありがとうございました!! (ちゅ)

子育てに関する相談は **こどもサポートセンター**まで ☆ 82-9910

<妊産・出産・子育て> 三木市健康増進課 86-0900 吉川支庁健康福祉課 72-2210

<親子関係・しつけ> 三木市子育て支援課 82-9910

